

2018年7月吉日

愛知医科大学 医学部  
地域医療教育学寄附講座  
教授（特任） 宮田 靖志

## 病院職員の人材確保の状況に関するアンケートについて

### 【研究目的】

本研究は、来る2025年にむけて、医療従事者をどのように確保していけばよいかを考えるために、各施設での人材確保に関する状況や取組に関するベストプラクティスを収集することを目的としています。

### 【研究の意義】

この調査は、愛知医科大学医学部 宮田靖志教授を研究代表者とする厚生労働省の研究です。この研究の結果をもとに、医療従事者の確保のための方策を検討することもあります。

- 1) 研究代表者： 宮田 靖志（愛知医科大学 教授（特任））
- 2) 研究分担者： 小林 大介（神戸大学 特命准教授・名古屋大学医学部附属病院 非常勤講師）  
山下 暁士（名古屋大学医学部附属病院 病院助教）  
林田 賢史（産業医科大学病院 医療情報部長）  
村上 玄樹（産業医科大学病院 講師）  
石川 ベンジャミン光一（国際医療福祉大学 教授）

### 【結果の公表等における病院情報の保護について】

この調査結果は、地域医療政策への貢献として愛知県・愛知県医師会への報告に使用するとともに、本研究報告書や学会発表・論文等で公表されます。  
本研究報告書や学会・論文発表資料については、名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンターのホームページにおいても公開の予定ですが、ご回答いただきました病院へ個別に結果の報告は致しません。また、結果の公表の際には、二次医療圏単位での集計など、個別に病院を特定できないような形で行います。

### 【回答方法】

- ・同封のアンケート用紙の回答欄にご記入の上、2018年8月31日までにご返送願いたく存じます。
- ・当アンケートはPC上でも回答できます。

### ＜名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンターホームページ＞

<https://www.nu-mitc.org/研究-活動/大規模データを用いた-地域の医療従事者確保対策に関する研究/病院職員の人材確保の状況に関するアンケート/>

にアクセスしていただきパスワード「**3tory-Chita**」（すべて半角英数）を入力ください。アンケート表（Excel）がダウンロードできます。また回答後は記載に沿ってアップロードしてください。

### 【研究に関する連絡先】

この研究について、確認やご不明な点がある場合には、以下までご連絡ください。

研究分担者 名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンター 山下 暁士（やました さとし） 事務局 電話番号：052-744-1977
--

## 病院職員の人材確保の状況変化に関するアンケート

※必ずご記入ください。

医療機関名	
担当者氏名	
(ふりがな)	
所属部署名	
電話番号	
E-mailアドレス	

### 調査様式

- Q1 [医療職者人員確保の状況](#)
- Q2 [Q1で示された職種以外で、人員確保が難しい職種](#)
- Q3 [人員確保に向けた取組や対策](#)
- Q4 [今後の人員確保の困難さの傾向（予想）](#)
- Q5 [Q4以外で、人員確保が難しくなると考えている職種やその理由](#)
- Q6 貴院について教えてください。
  - 1 [医師数](#)
  - 2 [職種別職員数](#)
  - 3 [手術室等の状況](#)
  - 4 [教育機関に関して](#)

Q1. 現在の貴院における医療職者人員確保の状況は3年前と比べて変わりましたか？  
各職種について該当する箇所に ○をつけてください。1-11の全てにご回答ください。

		容易になった	不変	難しくなった	該当部署がない
1	医師について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
2	看護職員（看護師、准看護師、助産師、保健師）について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3	薬剤師について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
4	リハビリ系療法士について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	看護補助者について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	介護士について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	その他、医療・介護系職種について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
8	医事課系職員について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
9	診療情報管理士について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	経営管理・分析系職員について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	その他、事務系職員について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

Q2. 上記Q1で示された職種以外で、人員確保が難しい職種があれば、  
下記にご記入ください。（医療系、事務系、その他どのような職種でもかまいません）  
例：早朝の給食担当の調理師、警備員等

Q3. 貴院において人員確保に向けた取組や対策はありますか？  
該当する項目に☑をつけてください（複数回答可）。1-5の全設問にご回答ください。  
自由記載欄は「その他」を選択した場合のみご記載をお願いいたします。

**1 給与、処遇について**

- 他院よりも好条件にしている
- 年功序列にしている
- その他 下記に取組・対策を記入ください。
- 業務の裁量性の自由を与えている
- 実際の業務内容を加味している

[ ]

**2 福利厚生、院内の設備について**

- 職員宿舎が充実している
- 家族の介護への対応が充実している
- その他 下記に取組・対策を記入ください。
- 出産・育児への対応が充実している
- 有給や休暇の取得率が高い

[ ]

**3 キャリアアップや研修、学会について**

- 研修・学会への参加を奨励している
- 資格取得の機会を提供している
- 研修・学会への参加費用を負担している
- 資格取得等の費用を負担している
- その他 下記に取組・対策を記入ください。
- 教育のプログラムを充実させている
- 進学等への配慮をしている

[ ]

**4 新規採用者の増加に対する取り組みについて**

- 複数の求人媒体の活用
- 独身寮の併設
- その他 下記に取組・対策を記入ください。
- 就職説明会の開催

[ ]

**5 教育施設との連携強化に対する取組について**

- 職員を講師等として派遣している
- 学校を設立している
- その他 下記に取組・対策を記入ください。
- 外部の病院実習を受け入れている
- 卒業生によるリクルーター活動

[ ]

**6 その他の取組について（例：勤務時間の多様性、職場復帰支援 等）**

Q4. 今後の人員確保は現在に比べてどうなると思われますか？  
各職種について該当する箇所に ◎ をつけてください。  
なお、対象職種について、自院の機能的にも現状在籍されておらず、  
今後の配置・採用予定もないなどの場合は「該当なし」を選択してください。  
さらに、今後の人材確保対策の検討に役立てるため、  
選択肢を選んだ理由として、すでに実感されていること、  
具体的なお考えなどについてもございましたらお聞かせください。

1. 医師について

- 容易になる       不変       難しくなる

上記を選択した理由

2. 看護職員（看護師、准看護師、助産師、保健師）について

- 容易になる       不変       難しくなる

上記を選択した理由

3. 薬剤師について

- 容易になる       不変       難しくなる

上記を選択した理由

4. リハビリ系療法士について

- 容易になる       不変       難しくなる       該当なし

上記を選択した理由

5. 看護補助者について

- 容易になる       不変       難しくなる       該当なし

上記を選択した理由

6. 介護職について

- 容易になる       不変       難しくなる       該当なし

上記を選択した理由

7. その他、医療系職種について

- 容易になる       不変       難しくなる       該当なし

上記を選択した理由

8. 医事課系職員について

- 容易になる       不変       難しくなる

上記を選択した理由

9. 診療情報管理士について

- 容易になる       不変       難しくなる       該当なし

上記を選択した理由

10. 経営管理・分析系職員について

- 容易になる       不変       難しくなる       該当なし

上記を選択した理由

11. その他、事務系職員について

- 容易になる       不変       難しくなる       該当なし

上記を選択した理由

Q5. 上記Q4以外で、今後、人員確保が難しくなると考えている職種やその理由をお書きください。

(医療系、事務系、その他どのような職種でもかまいません)









Q6. 最後に貴院についてお聞かせください。

3. 手術室等の状況を教えてください。

(2018年6月30日時点)

区分			
手術室数等	手術部内	手術室数(室)	
		手術台数(台)	

4. 併設の教育施設について

(i) 法人内に教育施設がある職種はありますか？(大学、専門学校等)  
該当する項目に☑をつけてください(複数回答可)

- 医師
- 看護職員(看護師、准看護師、助産師、保健師)
- 臨床・衛生検査技師
- 診療放射線技師
- リハビリテーション系の各種療法士(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)
- その他の医療系職種

上記に該当する職種名

- 教育機関を持っていない

(ii) 外部の教育機関との連携について行っていることはありますか？  
該当する項目に☑をつけてください(複数回答可)

- 病院実習を受け入れている
- 奨学生制度などの実施
- 優先的に採用を行っている
- リクルーター制度の実施
- その他

ご協力ありがとうございました。